

2025年度

法政大学 ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョンセンター 事業報告書



法政大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター

2026年4月



目次

01	発行によせて	2
02	DEIセンター概要	3
03	事業報告	4
1	多様性を包摂する環境整備	4
2	啓発・居場所作り	5
3	男女共同参画の推進	7
4	個別相談	8
04	情報発信・連携	10
05	最後に	11



付録

01	データで見る男女共同参画	12
02	2025年度DEIセンター事業計画	13
03	イベント・研修実施一覧	14

01 発行によせて

理念を基盤に、着実な前進を

法政大学総長 Diana Khor



DEI推進には、理念という基盤、それを具体化する実効性のある政策、そして日々の地道な取り組みの積み重ねが不可欠であると考えます。2024年の開設以来、DEIセンターは本学におけるDEI推進の中核として、包摂的な環境づくりや個別相談支援をはじめ、多面的な活動に取り組んできました。2025年度の実績は本事業報告書にまとめています。

DEIセンターが継続して実施しているDIVERSITY WEEKsでは、参加者数は昨年度より減少したものの、学生主催企画や参加型プログラムの充実により、実りある期間となりました。現在は年間を通じて多様な活動を展開しており、参加のあり方も変化していると捉えています。

対面・オンラインでの交流会や居場所づくりにも取り組んできました。大学は多様な人々が集う場である一方、従来の前提のもとに形づくられてきた制度や慣行もなお残っています。そのため、誰もが安心して学び、働ける環境が十分に整っているとは言えません。対話と関係性の積み重ねは、すぐに成果が見えるものではなくとも、理解を深める基盤となるものです。

研修では、対象を明確にし、具体的事例を踏まえた内容を重視しています。2025年度は中学生、教諭、大学教職員を対象に実施しました。限られた時間の中で、それぞれの立場に即してDEIを自分事として考える契機となることを目指しました。研修は継続してこそ意味を持つものであり、今後も積み重ねていく必要があります。

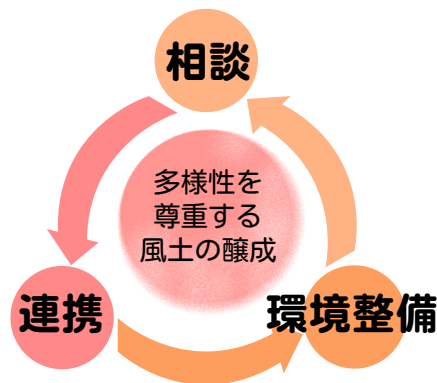
個々人の意識変容は重要ですが、包摂的な環境の実現には構造的課題への対応が不可欠です。男女共同参画の推進や研究者支援、安心・安全な学修・就労環境の整備など、制度面の改善にも取り組んできました。

構造改革には時間を要します。その過程では、完全ではない環境の中で活動する構成員への精神的支援とレジリエンスを高めていくことが求められます。センターでは、ジェンダー・セクシュアリティ、文化・国籍等を専門とするコーディネーターが在籍し、他部局と連携しながら、複合的なマイノリティ性を意識した取り組みを進めています。

理念に基づき、実践を重ね、構造と意識の双方に働きかけること。本報告書が、その歩みの一端となれば幸いです。

02 DEIセンター概要

法政大学は2016年にダイバーシティ宣言を発表し、ダイバーシティの実現に向けて取り組みを進めてきました。2024年4月にダイバーシティを重視した大学運営の実現を図ることを目的に、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター（DEIセンター）を開設しました。本学のダイバーシティ推進の中心的な役割を担い、本学が安心して創造的に、学び、働き、それぞれの個性を伸ばせる場になるよう、取り組んでいます。



DIVERSITY LOUNGE

多様性を尊重し、互いに理解し合うための情報発信・交流拠点として、多くの学生から多目的に利用されています。ダイバーシティ関係の書籍の閲覧・貸出や、イベントを開催しています。コーディネーターが常駐し、多様な学生等が安心して過ごせる環境を提供しています。



市ヶ谷キャンパス富士見ゲート1階
月～金曜日 9時～17時（11：30～12：30を除く）

体制

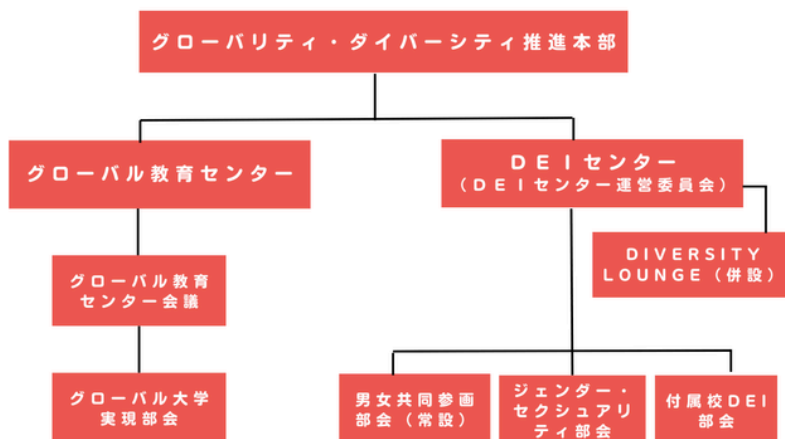
DEIセンター運営委員会を置き、関連部局と連携しながら、センター事業の運営や、ダイバーシティに関する学内の課題共有・環境整備を行っています。

また、DEIセンターの下に部会を設置し、「男女共同参画」や「ジェンダー・セクシュアリティ」など各領域の具体的な施策の立案・実行を担っています。2025年度は新たに「付属校DEI部会」を設置し、付属校3校におけるDEIの課題や取り組みを共有し、高大連携でDEIを推進していく体制を強化しました。

さらに、グローバルティとダイバーシティを包括的かつ一体的に推進するため、総長を本部長とする「グローバルティ・ダイバーシティ推進本部」を設置し、全学的な体制でDEIを推進しています。

スタッフ

- 専任職員：
課長（兼務）1名、主任1名
- コーディネーター：3名
（週3日×3名）
※2025年度より1名増員



03 事業報告

2025年度は「多様性を包摂する環境作り」や「多様な背景をもつ学生・教職員への支援」「全学的なDEI推進体制の構築」、男女共同参画推進関係など6つの目標と30の具体的取組を挙げて事業計画を策定し、取り組みました。以下、具体的な事業を報告します。

1 多様性を包摂する環境整備

① 無料生理用品設置の開始

2024年度に、学生と協働して「無料生理用品設置プロジェクト」を立ち上げました。試行やアンケート調査を行った結果、97.5%が無料生理用品の設置を希望しており、生理の貧困や生理に対する理解の不足等の課題も見えてきました。

これを受け、2025年4月より、市ヶ谷・多摩・小金井の3キャンパスの女子トイレとだれでもトイレに無料生理用品の設置を開始しました。登校時の急な生理や、手持ちの生理用品の不足などに不安を感じることなく、安心して大学生活を送ることができるよう、環境を整えています。



② キャンパスユニバーサルデザイン調査の実施（多摩）

障がい等の有無に関わらず、誰もが安心して学び働ける環境づくりを目指し、ユニバーサルデザイン（UD）の観点から施設面の課題を把握することを目的に、多摩キャンパスのUD調査を実施しました。車いす使用者を含む専門調査員による調査を実施し、調査報告書を施設保全部や障がい学生支援室等の関係部局と共有しました。この調査結果を活用し、より包摂的なキャンパス環境の整備につなげるための施策を検討し、実施していきます。



バリア・アドベンチャー ～市ヶ谷キャンパスのバリア（障壁）を考えよう

2024年度に実施した市ヶ谷キャンパスUD調査の結果をもとに、DIVERSITY WEEKsにおいて学生スタッフがキャンパス内のバリアやバリアフリースポットを巡るクイズラリーを企画し、実施しました。調査結果は施設改善だけでなく、学生の体験型の学びの機会にも活かしています。

③ ジェンダー、セクシュアリティに関わる受験・入学手続き時のQ&A

性自認や性別表現等の理由により、入学時から通称名使用を希望する場合の手続きについて整理し、受付体制を整えました。また、ジェンダー、セクシュアリティに関わる受験・入学手続き時のよくある質問を作成し、入学センターと連携してQ&Aをまとめ、HPに掲載しました。



④ DIVERSITY LOUNGEの運営

年間で2,248人の学生や教職員に利用されました。多様性を尊重した空間で、学生同士の交流や学びの機会を提供しました。

利用者数 延べ
2,248人

① DIVERSITY WEEKs 2025の開催

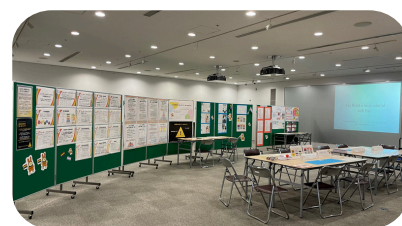
2025年11月17日～12月12日に「HOSEI DIVERSITY WEEKs 2025」を開催しました。ジェンダー、セクシュアリティ、多文化交流、障がいなど幅広いテーマで、学生企画を含む14プログラムを実施しました。障がい理解講演会や、性の多様性の基礎知識やLGBTQ+の年代ごとの障壁を紹介するパネル展示、マイクロアグレッションを紐とくワークショップ等を開催し、延べ770人が参加しました。



🌟 学生スタッフの声 抜粋

企画名：The world is more colorful with you

このイベントは「知る」だけでなく、自分自身のあり方や周囲との関わり方を見つめ直すきっかけとなり、誰もが安心して過ごせる社会の実現に向けた一歩につながることを願って企画しました。性の多様性基礎知識やLGBTQ+年代ごとの障壁、「トランスジェンダーのリアル」等のパネル展示や、プライドフラッグのミサンガづくりやジェンダーに関するカードゲーム、無意識の偏見やマイクロアグレッションを題材にした動画上映・四コマ漫画等の参加型イベントを行い、計149名の参加がありました。



展示の様子

参加者からは「展示に夢中になって全部読んだ」「年代別の障壁や漫画が理解しやすく多くの人に知ってもらいたい」「とても心強い」「安心と勇気をもらった人が多いと思う」「知らなかったを認識することが理解に繋がる一歩と感じた」「自分らしくいられる心地よい空間だった」などの感想をいただきました。

② レインボーサロン

DEIに関するテーマについて学び、語り合い、つながる場として定期的に行っています。2025年は5回実施し、約300人の学生、教職員が参加しました。(動画視聴を含む)



レインボーサロンの様子

◆タイトル

- 第5回「ジェンダー・セクシュアリティについて考える」
- 第6回「ノンバイナリー/Xジェンダーって何だろう？」
- 第7回「みんな違って、でもワタシは？～アイデンティティから多様性の旅へ～」
- 第8回（教職員対象）「法政大学におけるLGBTQ+学生対応：相談の実例から見る教職員にできること」
- 第9回（教職員対象）「法政大学における海外にルーツを持つ学生への対応：相談の実例からみる教職員にできること」

③ 法政レインボーほっとラウンジ

「セクシュアルマイノリティや、そうかも？と思っている人&アライのための居場所」として活動する学生の主体的プロジェクトです。2025年度は月1～2回、市ヶ谷・多摩・小金井での対面とオンラインで交流会を開催し、延べ100人以上が参加しました。

第9回 法政大学「自由を生き抜く実践知大賞」で、法政レインボーほっとラウンジの学生スタッフが「あらゆる立場の人々への共感賞」を受賞しました。



紹介記事



④ 多文化共生交流会 Let' s meet up !



2025年5月27日に、多様な背景をもつ学生の交流機会としてグローバル教育センターとの共催により開催しました。レジリエンス（困難にしなやかに対応する力）をテーマに、ストレスの向き合い方についてレクチャーを行いました。留学生や外国にルーツを持っている学生は、日常的に見えにくいストレスを感じ易いです。「誰もが安心して自分らしくいられる環境」をつくるため、様々なバックグラウンドを持つ学生が交流する機会を作っています。

⑤ にじの場



DEIセンターでは、学生だけでなく教職員からの個別相談も受け付けています。教職員がジェンダー・セクシュアリティ、国籍や文化、障がい等も含め安心して語り合えるクローズドな場として、「にじの場」を2回開催しました。グラウンドルールを設け、参加者が安心・安全に自己開示できるピアサポートの場づくりを目指しました。

「にじの場」は、教職員の皆さんがジェンダー・セクシュアリティ、国籍や文化等も含めて語り合えるクローズドな場です。月1回程度、DEIセンターのコーディネーターがグラウンドルールのもと運営します。オンライン（Zoom）で開催するため、性別は問いません。Zoomオフ、チャットの活用も参加可能です。

⑥ FD研修、職員研修

 教職員対象

・FD研修動画

教授会FD研修用に3本の動画コンテンツを作成し、教員研修等に活用されました。「多様な学生が安心・安全に学べる授業運営に向けて」「性の多様性に包摂的な大学とは」「違いを尊重する教育現場とは？レイシャルハラスメントを考える」をテーマにした研修動画をオンデマンド配信し、350人以上が受講しました。

・職員研修

専任職員必修の服務規律研修でのレイシャルハラスメント研修や、新入職員研修、キャリアセンター職員向けの「LGBTQ+のキャリア支援研修」等を実施しました。


・付属校教員研修

2026年3月25日に、二中高の教員を対象にDEI研修を実施し、70人が参加しました。

・「学生及び教職員の多様性を尊重した対応について」

学生が安心して学べる環境を確保するため、ジェンダー・セクシュアリティや国籍・民族・人種等の多様性を尊重した対応のポイントをまとめ、教職員に周知しました。

⑦ 出張講義

 学生・生徒対象

DEIの理解や安心して過ごせる大学・学校作りについて考える機会として、コーディネーターによる出張講義を実施しています。2025年度は約600人が受講しました。2025年10月20日、法政大学中学高等学校の中学1年生を対象に、「多様性について考える：誰もが安心して過ごせる学校・社会」と題した出張講義を実施しました。法政レインボーほっとラウンジを運営する学生スタッフも登壇し、安心できる居場所づくりにスタッフとして関わる中での気づきや思いについてお話ししました。後半はグループワークを行い、多様性を包摂する学校をつくるために何ができるのかを一緒に考えました。



人間環境学部入門科目での出張講義

ジェンダー・バランスがある学び場、職場をつくることをDEI推進の重要なテーマと位置付け、DEIセンターの下に「男女共同参画部会」を設置し、性別に関わりなく活躍できる環境の整備に取り組んでいます。



① ライフイベントに伴う校務の配慮願

📌 教員対象

大学教員のライフイベントと校務との両立支援の一環として、「ライフイベントに伴う校務の配慮願」制度を実施しています。DEIセンター長宛に、校務の配慮を申し出ることができる制度で、所属学部等との調整や依頼を行っています。

② メンター制度の施行

📌 職員対象

女性のキャリアパスや視野の拡大、所属を超えたネットワークの構築等を目的に、主任クラス的女性職員を対象にメンター制度を試行的に実施しています。2025年度は4名を対象にメンターの先輩職員と月1回程度のメンタリング（面談）を実施しました。

2025年8月には、過去3年間のメンター制度参加者による報告会を行い、制度化に向けて、振り返りや意見交換を行いました。

③ 両立支援研修「先輩職員トーク」



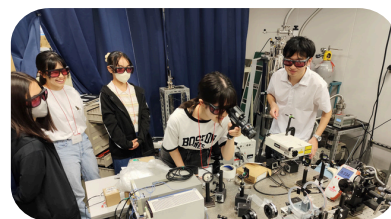
新入職員、4年目、10年目の階層別研修で、「先輩職員トーク～キャリア不安を吹き飛ばそう～」を開催しました。経歴や職位の異なる先輩職員が参加し、若手職員と座談会形式で対話しました。多様なロールモデルとの出会いや、育児・介護等との両立や今後のキャリアプランを考える機会を提供しました。

④ 女子中学生対象「理工系の研究を体験しよう！」

📌 担当理事より

松尾 由賀利

ダイバーシティ推進、男女共同参画推進担当理事／理工学部教授



<松尾研究室>レーザー光を原子に照射する実験の体験の様子

2025年8月5日、小金井キャンパスにて女子中学生対象イベント「理工系の研究を体験しよう！～法政大学小金井キャンパスで考える未来のじぶん～」を開催しました。本学が参画する「Girls Meet STEM(※)」の一環でもあり、想定を上回る応募があった中、生徒32名と保護者26名が参加しました。

第1部のトークイベントでは、大学院生たちが理系進学への動機や研究の楽しさを自身の言葉で伝えました。参加者からは「研究を心から楽しんでいる様子が伝わった」といった感想が寄せられ、身近なロールモデルとのふれあいが、将来の選択肢を広げる可能性を感じました。

第2部の研究室体験では、3つの研究室から研究テーマが提供されました。いずれのプログラムにおいても中学生たちは、普段触れることのない装置の操作に苦戦しながらも、初めての体験に驚き、真剣に考察を重ねていました。アンケートの回答から、参加者はもともと理系を目指している中学生だけではなく、迷っている参加者を含めて、「専門的で楽しかった、実験が将来の目標を考えるきっかけになった」という声を受け取り、指導にあたった我々にとっても大きな励みになりました。

また、保護者向けに理系のキャリア説明会を同時開催したことは、周囲の理解を深める上で有意義でした。STEM分野の発展にはダイバーシティが不可欠です。女性の参画拡大が次世代を呼び込む好循環を生み出せるよう、我々も環境の構築に努めてまいります。

※ STEMは、科学・技術・工学・数学の4つの分野の英語での頭文字を並べたもの。

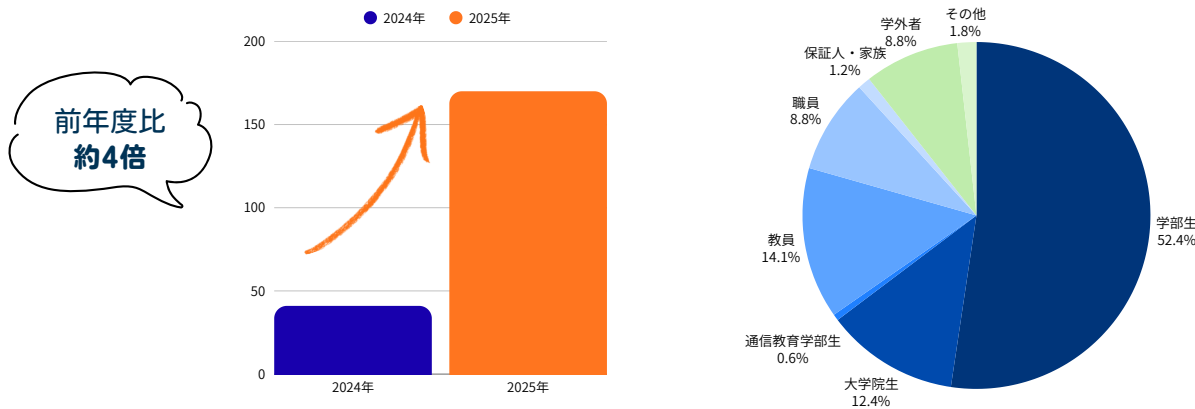
4 個別相談

DEIセンターでは、専門コーディネーターを配置し、性別や性的指向・性自認等のジェンダー・セクシュアリティに関することや、国籍・文化等に関する個別相談を受け付けています。開設2年目の個別相談の利用状況について、2024年度と比較し以下に示します。

利用者数と属性件数

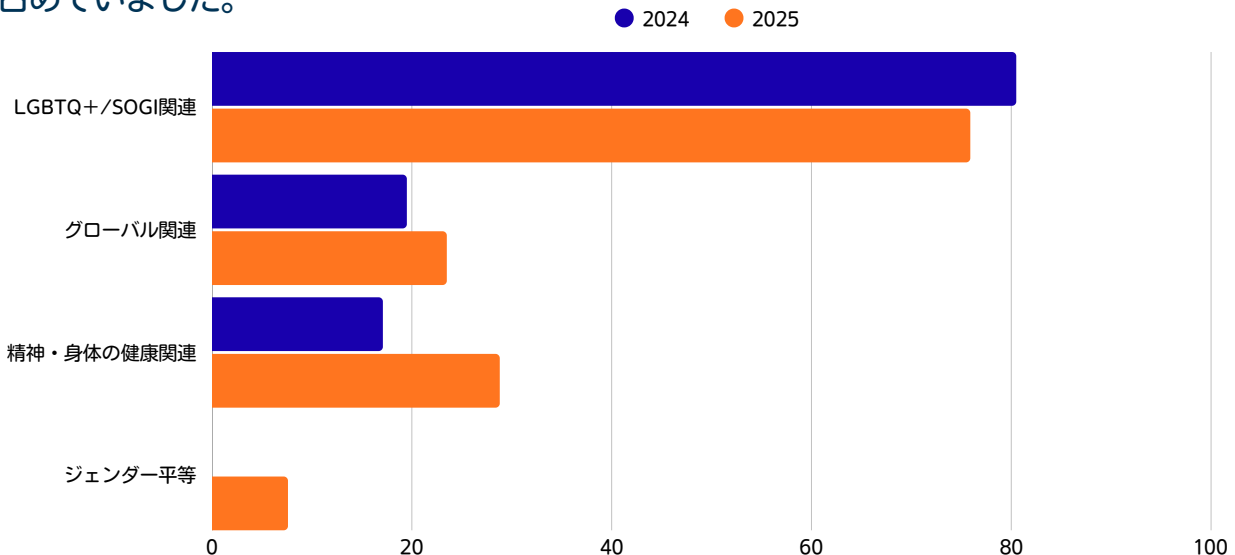
個別相談件数
170名

DEIセンターの**2025年度の個別相談は、170名（実人数99名）**でした。昨年度の41名と比較すると、**4倍以上の相談利用**がありました。利用者の属性割合は、学部生が52%（89名）と最も多く、次いで大学院生12%（21名）、教員14%（24名）で、昨年度と同様の傾向でした。



相談区分

相談概要を、①LGBTQ+/SOGIE関連（ジェンダー・セクシュアリティ）、②グローバル関連（国籍、文化、宗教、民族、人種等）、③精神・身体健康（精神・身体の不調、障がい等）、④ジェンダー平等（男女共同参画、女性/男性としての生きづらさ等）の4つに分類したデータを示します（④は新設のため2024年度は統計なし）。最も多かったのはLGBTQ+/SOGIE関連で75.9%、次いで精神・身体健康関連28.8%、グローバル関連23.5%でした。また、1回の相談内容が複数区分に該当した相談は全体の28.8%と約1/4以上を占めていました。



総人数（2024年度は41名、2025年度は170名）に対し、各相談の大分類の示す割合（総数比）を表示

相談件数

1人の相談に対し、その内容が該当する分類を示したものが以下になります。1件の相談で複数の分類に該当するケースも少なくありません。「学生生活・就学」に関する相談が最も多く60件（35.3%）、次いでジェンダー・セクシュアリティに関する相談や、それに関連する人間関係、学内制度や連携、無理解や偏見への傷つきや心と身体の健康に関するものがそれぞれ約3割程度を占めていました。また、DEIセンターに関する情報収集や、研修依頼等も同様の割合でありました。

相談分類	件数	総数比
学生生活・就学	60	35.3%
性自認・性別違和・性別表現・性別役割	59	34.7%
学内制度・連携（研修・助言を含む）	56	32.9%
性的/恋愛の指向・パートナーシップ	55	32.4%
情報収集（専門的知識に関すること）	52	30.6%
無理解・偏見・マイクロアグレッション	52	30.6%
心と身体の健康	51	30.0%
人間関係全般（友人、コミュニティなど）	48	28.2%
就活・就労・職場環境	31	18.2%
クローゼット・カミングアウト・アウティング	23	13.5%
言語や文化の違い	20	11.8%
性的な暴力・ハラスメントの疑い・差別	14	8.2%
取材（設立経緯・取組み・運営など）	14	8.2%
家族・親族関係	11	6.5%
暮らしやお金	11	6.5%
その他	4	2.4%
性行動・性の健康	1	0.6%
合計	562	330.6%

※マイクロアグレッション：悪意の有無にかかわらず、少数派の集団に属する個人に対して日常的に行われる差別的な言動（属性を理由とした排除、見下し、軽視等）を指す。

総合所感

相談件数の増加から、DEIセンターの存在や役割の認知度が高まり、DEIセンターに対して意見や相談を寄せやすい環境が整いつつあると考えられます。学生や教職員からDEIに関する助言や授業・研修を依頼される機会が増えただけでなく、学外からのDEIセンターの取組みに関するヒアリングや研修依頼の回数も増加しました。

また、相談区分の多様さと複合的マイノリティ特有の相談が多いことから、DEIセンターの名称の通り多様なマイノリティ性を持ち、そのことに起因する悩みの相談が多く寄せられました。特に相談の中で、心身の不調に関する項目も多く、その背景に被差別経験やマイクロアグレッションの影響があると考えられます。また、大学内制度に関する相談件数が増加していることから、相談者個人の心身の状態だけでなく、相談者を取り巻く周囲の環境に関するアセスメントの必要性も改めて認識することができました。今後も、障がい学生支援室や学生相談室等の支援窓口と連携しながら、相談者の心身の健康や安心して通学・勤務できる学内の環境整備に向けて、取り組んでまいります。

04 情報発信・連携

DEI NEWSLETTER・SNS



DEIセンターの活動紹介やDEIに関するコラムを掲載するDEI NEWSLETTERを定期的に発行しています。2025年度はvol.6～8を発行し、学内外に広く発信しました。



DEI NEWSLETTER



DIVERSITY COLUMN



WEBサイトの他、[Instagram](#)での発信も積極的に行い、フォロワー数は1年間で約150人増加しました。

三大学連携事業シンポジウム「真のダイバーシティとWA！？～多様な人・理念・価値観が集まる大学キャンパスを舞台として」

2025年8月9日、大阪・関西万博ウーマンズパビリオン「WA」にて法政大学・明治大学・関西大学連携事業シンポジウムが開催され、DEIセンターの設立の経緯や、取り組みの紹介を行いました。三大学の学長が登壇したパネルディスカッションでは、差別や格差とダイバーシティ推進の関係、個人意識と制度改革、「多数者」の特権といった論点を踏まえつつ、ダイバーシティの真意や大学が果たすべき役割、今後の展望について活発な意見交換が行われました。



パネルディスカッションの様子 (Khor総長と西田副学長)

見学・ヒアリング依頼

他大学や企業から、本学のDEI推進体制やDEIセンターの取り組みについてのヒアリングや見学依頼があり、対応しました。

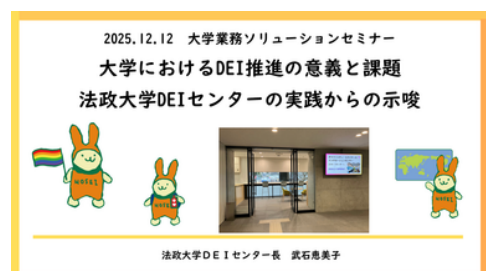
- 大学：9件
- 企業：2件

また、2025年8月に法政大学が会場校となり、「第3回 LGBTQ+ インクルーシブキャンパスネットワーク」が開催されました。16校から37名の大学関係者が集まり、LGBTQ+に包摂的なキャンパスを作るための情報交換と、DEIセンターの見学を行いました。

外部セミナーへの登壇

講演依頼を受け、DEIセンターの取り組み等を紹介する外部セミナーに登壇しました。

- 2025年度大学業務ソリューションセミナー（[株](#) 早稲田大学アカデミックソリューション主催）
- 福岡工業大学ダイバーシティ推進セミナー



05 最後に

着実に前に進めてきた2年間

法政大学DEIセンター長 武石 恵美子
(キャリアデザイン学部教授)



DEIセンター開設から2年が経過しました。他大学の経験に学びつつも、本学の現状を直視し、一つ一つの課題に対して何ができるかを丁寧に考えて前に進んできた2年間だったと総括できます。

何よりも、センターの重要な機能である個別相談が、前年の4倍に増えました。これまで潜在化していた問題が、相談の場を通じて可視化されてきました。相談内容も、ジェンダー・セクシュアリティや多文化理解に関わることをはじめ、どこに相談していいかわからないというケースもあり、よい意味で「よろず相談」となっています。相談者も、学生・教職員だけでなく、父母や受験生などにも広がり、センターの存在が安心して学び活動できる場づくりに寄与していると考えます。

様々な相談は、話を聴いて終了することは少なく、大学の制度や環境を整備しなければ解決しないことの方が圧倒的に多いというのも重要な点です。留学生からの希望により「祈りの場所」を設置したり、学生の通称名使用手続きの見直しを行うなど、相談を端緒に環境整備を進めてきました。

この環境整備で最も重要なことが、本学構成員がDEIの重要性を理解し、行動に移すことです。特に、教育・研究で学生と深く関わる場面が多い教員の言動が、時に学生を不安にして大学には居場所がないと感じさせてしまうことには留意が必要です。このため、「FD研修動画」を作成し、付属校を含めて関係者に視聴いただいています。また、コーディネーターによる出張授業等も展開するなど、様々な機会をとらえてDEIの学内への浸透を進めてきました。

こうした取組により、学生がセンター活動に関心を持ち、学生スタッフとして自主的な活動を展開してくれているのは心強いことです。また、学外からの講師依頼やヒアリング依頼なども増えており、「DEI推進」が法政のブランドとして確立しつつあることを実感します。これも、センターに関わってくださった多くの方々のご尽力のおかげです。

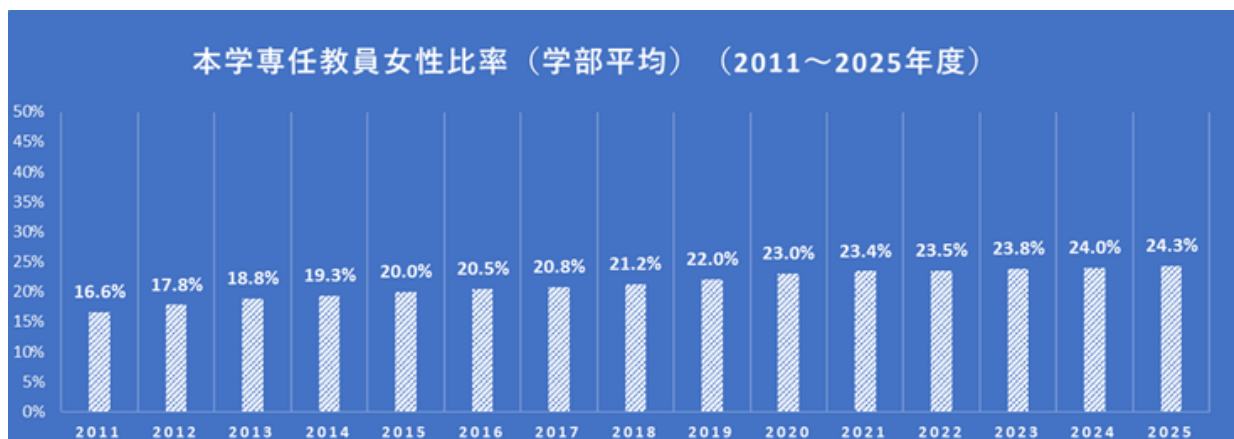
本学のDEI推進は、さらにバージョンアップさせる必要があります。次年度は、多摩キャンパス、小金井キャンパスにも拠点展開を図ります。引き続き皆様のセンターの活動へのご理解とご支援をお願いいたします。

後援・賛同

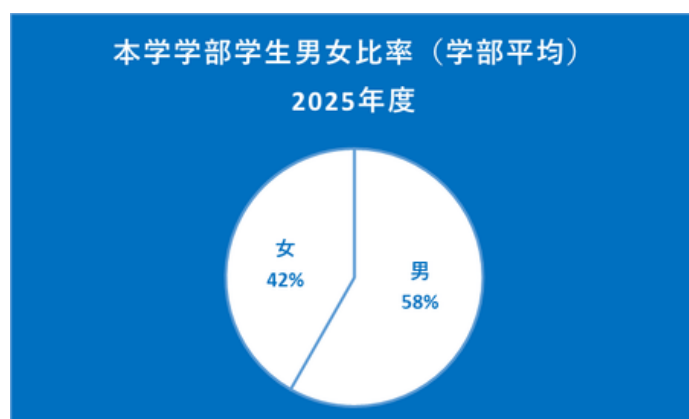
- 日本学術会議主催 学術フォーラム「STEM 分野の未来を支える多様性とは」(2026年2月21日開催)
- 公益財団法人 山田進太郎D&I財団「Girls Meet STEM」
- 認定NPO法人ReBit・(株)JobRainbow共催「DIVERSITY CARRER FORUM 2025」(2025年12月13日開催)

01 データで見る男女共同参画

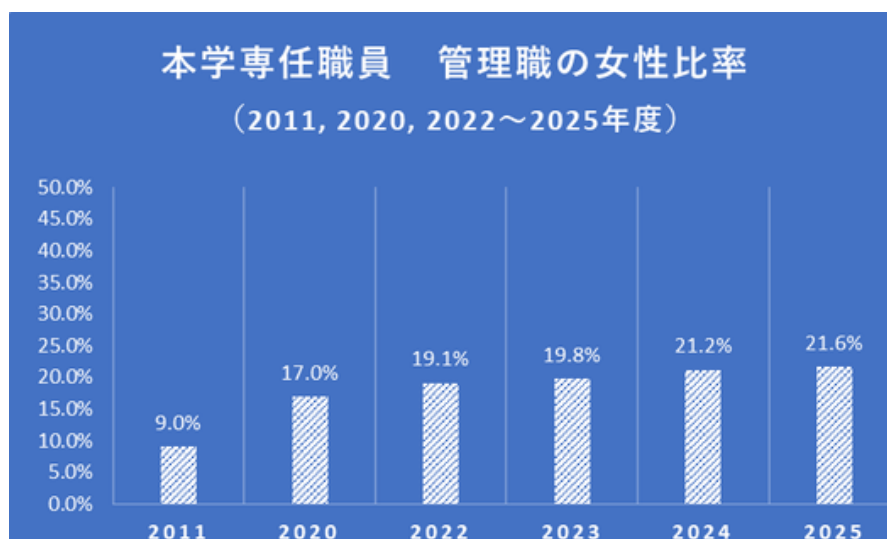
1. 本学専任教員女性比率



2. 本学学部生男女比率（学部平均）



3. 本学専任職員 管理職の女性比率



法政大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター（DEIセンター）
2025年度事業計画

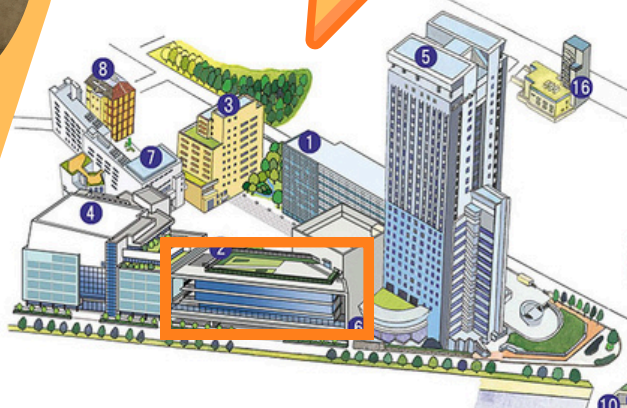
目標	課題	No.	具体的取組	進捗状況
① 多様性を包摂する環境作り	多様性を尊重し理解し合うための情報発信・交流拠点作り	1	DIVERSITY LOUNGE運営	・レインボーサロンを開催（5回）
		2	居場所作りや交流機会の創出	・【学生】法政レインボーほっとラウンジを開催（16回） ・【DEI・GEC共催】多文化共生交流会 Let's meet up!を開催 ・【教職員】にじの場を開催（2回）
		3	学生との協働によるDIVERSITY WEEKS開催	・複数キャンパスで学生スタッフ等による14企画を実施し、770人が参加（11-12月）
	DEI推進に関する全学的な意識向上	4	教職員研修や学生向けガイダンス等の実施	・新入職員、新任教員、新入生ガイダンス（4月） ・人間環境学部「人間環境学への招待」出張講義（4月） ・学部教授会FD研修動画の作成・提供（9月） ・教職員向けレインボーサロンの実施（7月・1月） ・キャリアセンター職員向け1870キャリア支援研修（11月） ・専任職員必修 服務規律研修（11月） ・経済学部、現代福祉学部への出張講義（12~1月）
		5	情報発信による認知度向上	・2024年度DEIセンター事業報告書の発行・周知 ・インスタグラムでの発信強化 ・DEIセンター紹介ポスターを制作し、学内に掲示
		6	本学のDEI推進に関する現状把握	・構成員へのダイバーシティに関する意識調査
	多様性を包摂するハード・ソフト面の環境整備	7	キャンパスユニバーサルデザイン調査	・多摩キャンパスUD調査実施（1月）、報告会（3月）を実施
		8	アクセシビリティ向上施策の検討、試行	・イベント開催時の情報保証を検討・実施 ・DEIセンターに「耳マーク（聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマーク）」を掲示
		9	無料生理用品設置の導入	・3キャンパスで導入を開始
② 多様な背景をもつ学生・教職員が個性と能力を発揮するための支援	ダイバーシティに関する基本方針や対応等の整備	10	ダイバーシティガイドラインの周知・点検	・第2版の印刷、周知を実施（4月）
		11	教職員向けの活用促進や有益な情報の発信	・個別相談ページに教職員向け相談例、学外相談先リンクを掲載 ・教職員ご意見フォームの作成・周知・環境改善 ・啓発文書「多様性を尊重した対応について」の発信（9月） ・出張講義や研修の案内を送付
		12	個別相談の運用、市ヶ谷以外での対面相談の受付	・個別相談対応（170名） ・多摩、小金井での対面相談受付開始
	マイノリティの学生・教職員への支援	13	学生の通称名使用手続きの運用	・性自認や性別表現等を理由とする場合に、DEIセンターでの受付・面談を開始 ・新入生の入学時からの通称名使用について手続きを明確化 ・センター・セクシュアリティに関わる受検・入学手続き時のQ&Aを公開（12月）
		14	同性パートナー等に関する制度の検討	・現行制度における課題等を確認・検討
		15	多様な文化・宗教に対応したお祈りの場所や食事環境の検討	・祈りの場所の設置に向け検討し、関係部局と調整 ・DIVERSITY WEEKSで食と多文化に関するイベントを実施（12月）
ワークライフバランスの推進	16	「ライフイベントに伴う校務の配慮願」の運用整備	・トライアル実施（8月~） ・2026年度から本実施を予定	
③ 大学として着実な男女共同参画推進（役職者女性比率30%）	啓発・計画履行	17	役員・機関長、教職員等研修	・グローバルティ・ダイバーシティ推進本部会議での研修を実施（11月）
		18	女性比率データの定期的な把握・報告	・学部長会議等への女性教員比率データ報告（7月） ・理系指導教員女性比率のデータ収集・報告（7月） ・2024年度DEIセンター事業報告書へのデータ掲載（5月）
		19	女性活躍推進、次世代育成に関する行動計画の履行・点検	・男女共同参画部会で2024年度の数値および行動を点検（5月）
④ 女性研究者の育成・採用・定着の促進（女性教員比率30%）	採用・定着の環境構築	20	教育研究支援制度導入に向けた検討	・提案をまとめ、トライアル実施を決定 ・2026年度からのトライアル実施の周知を開始（1月）
	育成の環境構築	21	女子中高生に向けた理系選択支援	・二中高での小金井理系説明会の開催（5月） ・小金井での女子中学生向け理系体験イベントの開催（8月）
⑤ 性別に関わりなく活躍できる職場作りの推進（女性管理職比率30%）	柔軟で多様な働き方が可能な環境構築	22	ロールモデルの共有	・新入職員研修、階層別研修（4年目、10年目研修）での両立支援研修（先輩トーク）を実施
	両立支援とキャリア形成支援の一体的推進	23	職員女性主任メンターの制度化	・4名の女性主任を対象にメンター制度を実施 ・2024年度参加者との振り返り会を開催（8月）
		24	階層別研修における研修の実施	・新入職員研修、階層別研修（4年目、10年目研修）での両立支援研修（先輩トーク）を実施
	⑥ 全学的なDEI推進体制の構築	方針、計画、目標の策定、情報共有体制の整備	25	グローバルティ・ダイバーシティ推進本部の運営
26			DEIに関連する認証や参画、補助事業等の調査・検討	・関連情報を調査した
学内外連携体制の構築		27	学内関係部局・機関との連携	・相談やご意見フォーム等で寄せられた内容をもとに、関係部局と調整し資料や運営方法を改善（大学広報の育休情報の削除、健康診断案内、就活手帳、実習の身だしなみ文書等の変更）
		28	他大学や関係機関との連携	・Tokyo Pride 2025「UDA」ブースへの資料提供（6月） ・LGBTQ+インクルージョンキャンパスネットワークイベント参加（会場校）（8月） ・後援、賛同（Rebit：DIVERSITY CARRIER FORUM、diverseeds、日本学術会議：学術フォーラム「STEM分野の未来を支える多様性とは」等） ・他大学・企業等からのヒアリング・見学対応（11件） ・大学業務ソリューションセミナーでの講演（12月） ・福岡工業大学D&I講演会での講演（3月）
		29	多摩での拠点作り、小金井での事業実施	・多摩でのレインボーほっとラウンジ開催（7月） ・DEIセンターイベントin小金井の開催（10月） ・2026年度~多摩・小金井で週2日程度DEIセンターを開設予定
多摩、小金井キャンパス、付属校における事業展開	付属校間・高大連携の強化	30	付属校DEI部会の設置・開催	・付属校DEI部会の設置・開催 ・各校部会委員へのヒアリング実施、情報共有・意見交換 ・中高の1道徳授業への出張授業（10月） ・付属校生も対象のオンライン交流会の開催（12月） ・二中高での教員研修（3月）

No.	分類	対象	区分	タイトル	講師等	実施日	場所	参加人数	学生	教職員	その他	共催・備考等
1	依頼研修	教職員	DEI	新任教員研修	武石 恵美子 (DEIセンター長)	2025/4/04(金)	ポソナード・タワースカイホール	25		25		
2	依頼研修	教職員	DEI	新入職員研修	川島 実瑛 (DEIセンターコーディネーター) 丸山 まさよし (DEIセンターコーディネーター)	2025/4/09(水)	DIVERSITY LOUNGE	20		20		
3	出張授業	学生	DEI	「人間環境学への招待」出張講義	川島 実瑛 丸山 まさよし (DEIセンターコーディネーター)	2025/4/16(水)	富士見ゲート	400	400			
4	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ	学生スタッフ	2025/5/21(水)	DIVERSITY LOUNGE	8	8			
5	講演・講座	学生	DEI	レインボーサロン第5回「ジェンダー・セクシュアリティについて考えよう」	渡邊 歩 (DEIセンターコーディネーター)	2025/5/22(木)、5/27(水)	DIVERSITY LOUNGE	14	14			
6	講演・講座	その他	男女共同参画部会	小倉井理系説明会～小倉井キャンパスから考える未来のじぶん～		2025/5/21(水)	法政大学第二中・高等学校 木月ホール	106			106	男女共同参画部会
7	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ (対面交流会)	学生スタッフ	2025/5/21(水)	DIVERSITY LOUNGE	8	8			
8	居場所・交流	学生	DEI	第1回多文化共生交流会	川島 実瑛 (DEIセンターコーディネーター)	2025/5/27(火)	グローバル教育センターセミナー室	11	11			グローバル教育センター
9	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ (オンライン交流会)	学生スタッフ	2025/6/02(月)	オンライン	8	8			
10	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ (オンライン交流会)	学生スタッフ	2025/6/05(木)	オンライン	4	4			
11	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ (対面交流会)	学生スタッフ	2025/6/19(木)	DIVERSITY LOUNGE	10	10			
12	講演・講座	学生	DEI	レインボーサロン第6回「ノンバイナリー/ジェンダーって何だろう? ～見えづらいマイノリティ性を考える」	丸山 まさよし (DEIセンターコーディネーター)	2025/6/26(木)	DIVERSITY LOUNGE	9	9			
13	居場所・交流	教職員	DEI	第1回「にじの場」～DEIについて教職員が安心・安全に話せるオンラインの居場所～	渡邊 歩 (DEIセンターコーディネーター)	2025/6/30(月)	オンライン	3		3		
14	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ in 多摩	学生スタッフ	2025/7/07(月)	多摩キャンパス 対面	9	9			
15	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ (オンライン交流会)	学生スタッフ	2025/7/14(月)	多摩中心 オンライン	7	7			
16	講演・講座	学生	DEI	レインボーサロン第7回「みんな違って、でもワタンは? ～アイデンティティから多様性の旅へ～」	川島 実瑛 (DEIセンターコーディネーター)	2025/7/16(水)	DIVERSITY LOUNGE	9	9			
17	講演・講座	教職員	DEI	レインボーサロン第8回「法政大学におけるLGBTQ+学生対応: 相談の実例から見る教職員にできること」	渡邊 歩 (DEIセンターコーディネーター)	2025/7/31(火)	オンライン	210		66	144	
18	講演・講座	その他	男女共同参画部会	女子中学生対象「理工系の研究を体験しよう!」	松岡 由南利 教授 (理工学部創生科学科) 川岸 智哉 教授 (生命科学学生命機能学科) 山ノ形 康 教授 (生命科学部環境応用化学科)	2025/8/05(火)	小倉井キャンパス	58			58	
19	居場所・交流	教職員	DEI	第2回「にじの場」～DEIについて教職員が安心・安全に話せる居場所～	渡邊 歩 (DEIセンターコーディネーター)	2025/8/07(木)	DIVERSITY LOUNGE	3		3		
20	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ (対面交流会)	学生スタッフ	2025/8/21(水)	DIVERSITY LOUNGE	3	3			
21	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ (オンライン交流会)	学生スタッフ	2025/8/27(水)	オンライン	5	5			
22	依頼研修	教職員	DEI	体育教員ランチミーティング	丸山 まさよし (DEIセンターコーディネーター)	2025/9/19(金)	多摩キャンパス第二体育館	13		13		
23	居場所・交流	学生	DEI	国際高文化祭	市川 さやか (専任職員)	2025/09/20(土) 2025/09/21(日)	国際高	5				国際高
24	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ in 小倉井	学生スタッフ	2025/10/06(月)	小倉井キャンパス	3	2	1		
25	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ (オンライン交流会)	学生スタッフ	2025/10/15(水)	オンライン	4	4			
26	出張授業	学生	DEI	中高出張授業	丸山 まさよし (DEIセンターコーディネーター) 渡邊 歩 (DEIセンターコーディネーター)	2025/10/20(月)	法政中高	150				
27	出張授業	学生	DEI	多摩経済学部西澤先生入門ゼミ	渡邊 歩 (DEIセンターコーディネーター)	2025/11/04(火)	多摩キャンパス	16	16			
28	依頼研修	教職員	DEI	服務規律研修	川島 実瑛 (DEIセンターコーディネーター)	2025/11/12(水)、19(水)	オンライン配信	460		460		
29	依頼研修	教職員	DEI	グローバリティ・ダイバーシティ推進本部研修	Diana Khor 総長 渡邊 歩 (DEIセンターコーディネーター)	2025/11/13(木)	オンライン	50		50		
30	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	Discover Ukraine: ウクライナのアートと文化に触れる3つの体験 フィーサカ (イースターエッグ) ワークショップ	特定非営利活動法人ウクライナ文化センター Ukraine House Japan	2025/11/17(月)	市ヶ谷キャンパス外濠校舎1階メディアラウンジ	14				
31	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	DIVERSITY講義シリーズ	伊藤 正子 (現代福祉学部 教授) 本多 美樹 (法学部 教授) 眞保 智子 (現代福祉学部 教授)	2025/11/19(木)～ 2025/12/12	オンライン配信	173				
32	居場所・交流	学生	DIVERSITY WEEKS	法政レインボーほっとラウンジ (オンライン交流会)	学生スタッフ	2025/11/19(水)	オンライン	4	4			
33	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	国際交流フェア	国際交流サークルFitus	2025/11/19(水)	多摩キャンパス EGG DOME 5Fホール	50				Fitus、多摩事務課グローバル担当
34	居場所・交流	学生	DIVERSITY WEEKS	法政レインボーほっとラウンジ (対面交流会)	学生スタッフ	2025/11/25(火)	DIVERSITY LOUNGE	7	7			
35	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	Discover Ukraine: ウクライナのアートと文化に触れる3つの体験 サムキフの絵画ワークショップ	特定非営利活動法人ウクライナ文化センター Ukraine House Japan	2025/11/25(火)	市ヶ谷キャンパス外濠校舎1階メディアラウンジ	7				
36	依頼研修	教職員	DEI	LGBTQ+のキャリア支援研修	岩崎 徳子 氏	2025/11/26(水)	外濠校舎	28		28		キャリアセンター職員向け研修
37	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	HOSEI DEI FEST	ソーシャル・イノベーションセンター (SIC)	2025/11/28(金)	多摩キャンパス円芝	100				SIC
38	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	En(精) x 食を通じた多文化交流	En+DIVERSITY WEEKS学生スタッフ	2025/12/1(月)～12/5(金)	富士見校舎 富士見坂ホール	126				
39	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	The world is more colorful with you	DIVERSITY WEEKS学生スタッフ	2025/12/1(月)～12/5(金)	市ヶ谷キャンパス外濠校舎1階メディアラウンジ	149				
40	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	バリア・アドベンチャー	DIVERSITY WEEKS学生スタッフ	2025/12/1(月)～12/12(金)	学内各所	13				
41	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	キャリアのリアルって?～社会人学生と語る これからの未来～	社会人学生DEIイベント実行チーム	2025/12/02(火)	市ヶ谷キャンパスポソナードタワー 0706	9				
42	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	障がい理解講演会「バリアを超える、その一歩」	志願村 早紀 氏 (武蔵野大学助教)	2025/12/03(水)	市ヶ谷キャンパス大内山校舎Y404・ハイパースペース	22				
43	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	気づかぬまの偏見-マイクロアグレッションを減らそう	権野 杏希 氏	2025/12/06(土)	DIVERSITY LOUNGE	8				
44	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	共感!らしさと気持ちのくじ引き展	人間環境学部 佐伯志有 志	2025/12/8(月)～12/12(金)	市ヶ谷キャンパス外濠校舎1階メディアラウンジ	70				
45	出張授業	学生	DEI	現代福祉学部佐藤先生ゼミ	丸山 まさよし (DEIセンターコーディネーター)	2025/12/09(火)	多摩キャンパス	27	25	2		
46	イベント	学生・教職員	DIVERSITY WEEKS	DISCOVER UKRAINE ウクライナのアートと文化に触れる3つの体験 ウクライナをテーマにしたプレゼンテーション&映画上映	特定非営利活動法人ウクライナ文化センター Ukraine House Japan	2025/12/10(水)	市ヶ谷キャンパス大内山校舎4階Y405教室	14				
47	居場所・交流	学生	DIVERSITY WEEKS	法政レインボーほっとラウンジ (対面交流会)	学生スタッフ	2025/12/11(木)	DIVERSITY LOUNGE	4	2	2		
48	依頼研修	その他	DEI	早稲田アカデミックソリューションズセミナー: DEIセンター-講演	武石 恵美子 (DEIセンター長)	2025/12/12(金)	早稲田大学アカデミックソリューション	102			102	
49	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ (オンライン交流会)	学生スタッフ	2025/12/25(木)	オンライン	4	2	2		
50	出張授業	学生・教職員	DEI	多摩経済学部西澤先生入門ゼミ	丸山 まさよし (DEIセンターコーディネーター)	2026/1/13(火)	多摩キャンパス	20				
51	イベント	教職員	DEI	レインボーサロン第9回「法政大学における海外にルーツを持つ学生への対応: 相談の実例からみる教職員にできること」	川島 実瑛 (DEIセンターコーディネーター)	2026/1/30(金)	(DEIセンターコーディネーター)	83		70	13	
52	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ (オンライン交流会)	学生スタッフ	2026/2/12(木)	オンライン	7	6	1		
53	依頼研修	教職員	DEI	GIS教授会研修	川島 実瑛 (DEIセンターコーディネーター) 渡邊 歩 (DEIセンターコーディネーター)	2026/2/25(水)	市ヶ谷キャンパスBT19 階会議室	15		15		
54	講演・講座	教職員	DEI	学部教授会向けFD研修動画コンテンツ	武石 恵美子 (DEIセンター長) 渡邊 歩 (DEIセンターコーディネーター) 丸山 まさよし (DEIセンターコーディネーター) 川島 実瑛 (DEIセンターコーディネーター)	2025/08/31～	オンデマンド	396		396		①多様な学生が安心・安全に学べる授業運営に向けて ②多様な学生が抱える困難な状況と ③SOGIハラメントを克服する ④若い世代を尊重する教員とは? レイジナルハラメントを考える
55	居場所・交流	学生	DEI	法政レインボーほっとラウンジ (対面交流会)	学生スタッフ	2026/3/09(月)	DIVERSITY LOUNGE	6	5	1		
56	居場所・交流	学生	DEI	福岡工大	武石 恵美子 (DEIセンター長)			50				
57	依頼研修	教職員	DEI	法政二中高教員研修	渡邊 歩 (DEIセンターコーディネーター)	2026/3/25(水)	法政二中高	70		70		

参加人数
合計 3,209 学生 578 教職員 1228 その他 423



法政大学
市ヶ谷キャンパス
富士見ゲート1階



法政大学 ダイバーシティ・エクイティ& インクルージョンセンター (DEIセンター)

TEL : 03-3264-5529

Mail : dei@ml.hosei.ac.jp

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート1階

DEIセンターウェブサイト

<https://www.hosei.ac.jp/diversity/>



ウェブサイト



Instagram



ダイバーシティ宣言



ガイドライン